

仙台市太白山自然観察の森情報誌

No. 227

7月 森のおくりもの

2010年 7月号



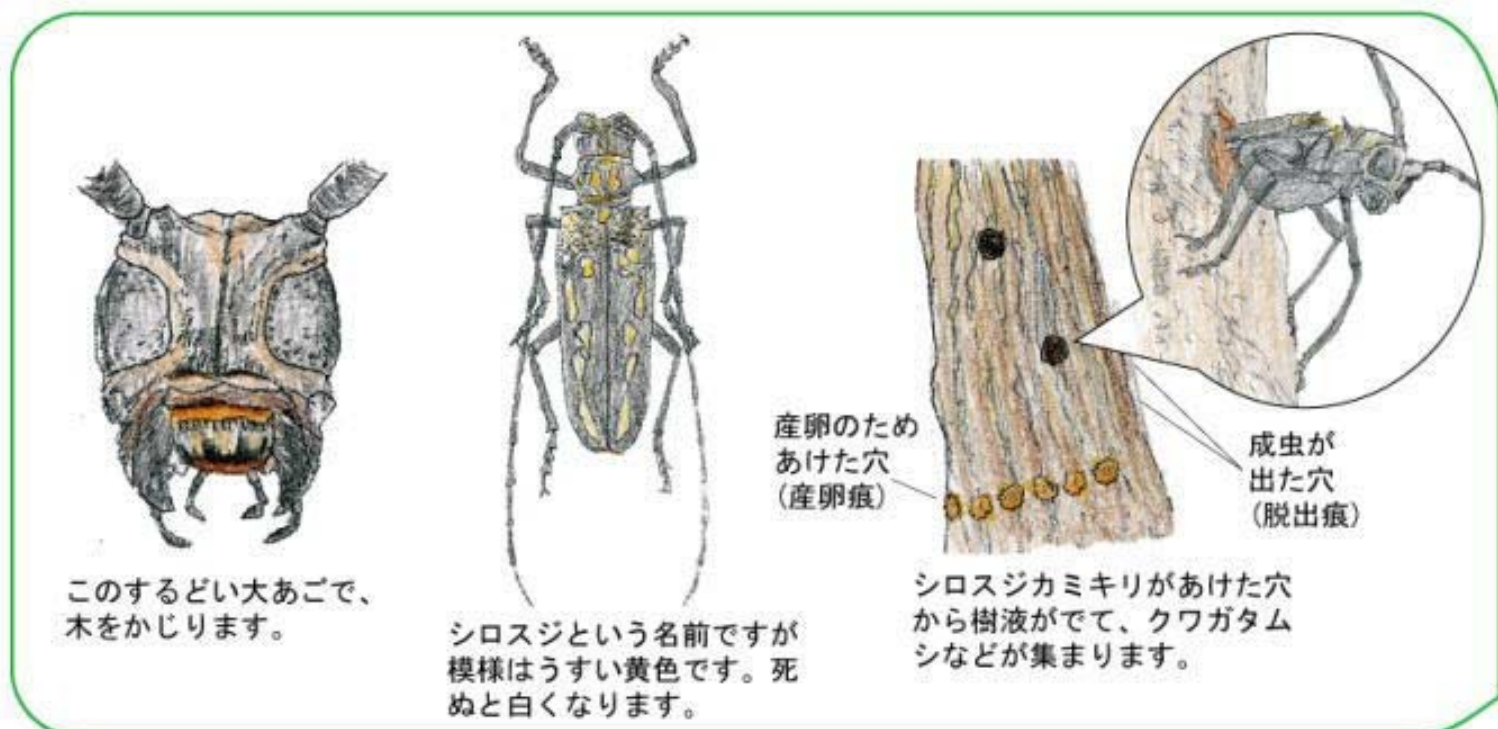
イラスト：白坂 一広（宮城野区）

お山が深緑で覆われ、ホトトギス・ウグイス・キビタキなどの鳴き声でか
しましいぐらいです。緑が邪魔をして姿を見るのが難しくなったので目に
頼った楽しみ方から耳に頼る楽しみ方にチェンジしてみませんか。立ち止
まって静かに耳を澄ましているとニホンカモシカが藪の中を移動する音や
、リスが何かをかじっている音を聞くことが出来るかも知れません。運が
よければ姿を見ることが出来るかも？。試してみませんか……

（武智）

里山の昆虫 シロスジカミキリ

観察の森を歩くとコナラやクヌギの木に丸く削られた痕が横一列にならんでいるものを見つけます。これは、シロスジカミキリが産卵のためかじった痕なのです。今回はこのシロスジカミキリについてご紹介します。



このすどい大あごで、木をかじります。

シロスジという名前ですが模様はうすい黄色です。死ぬと白くなります。

産卵のためあけた穴(産卵痕)

成虫が出た穴(脱出痕)

シロスジカミキリがあけた穴から樹液がでて、クワガタムシなどが集まります。

シロスジカミキリは日本最大のカミキリムシで、昆虫好きにはたまらないカッコイイ昆虫のひとつです。

そんなシロスジカミキリが、現在その数を減らしています！

シロスジカミキリは、木の表面をかじってその中に卵を産み、3年間表面近くの柔らかい部分を食べて育ちます。幼虫が3年間食べても生きられて、表面が柔らかい、シロスジカミキリにとってちょうどいい木は、15～25年で木を切る里山にはたくさんありました。しかし、近年、里山を管理しなくなった結果、木が大木になってしまい、表面が堅くなった木にシロスジカミキリは産卵することができず、その数を減らしています。東京都や神奈川県など5つの県では既に絶滅が危惧される昆虫となっています。身近な生き物が絶滅危惧種になっているなんて…とても残念です。私たちの住む宮城県では普通種で、観察の森でも成虫や産卵痕や脱出痕を観察することができます。

身近な生き物が身近に生き続ける、そんな当たり前のことがこの先ずっと続くように、私たちができることを考えていきたいと思います。

【文・イラスト：咲間】

クイズ

【もんだい】 カミキリムシの幼虫の別名は何でしょう？



(A) マゴタロウムシ

(B) ザザムシ

(C) テッポウムシ

☆ヒント：森のおくりもの No. 64 太白山の昔ばなし 第40回「冬のおやつ」に登場するよ！

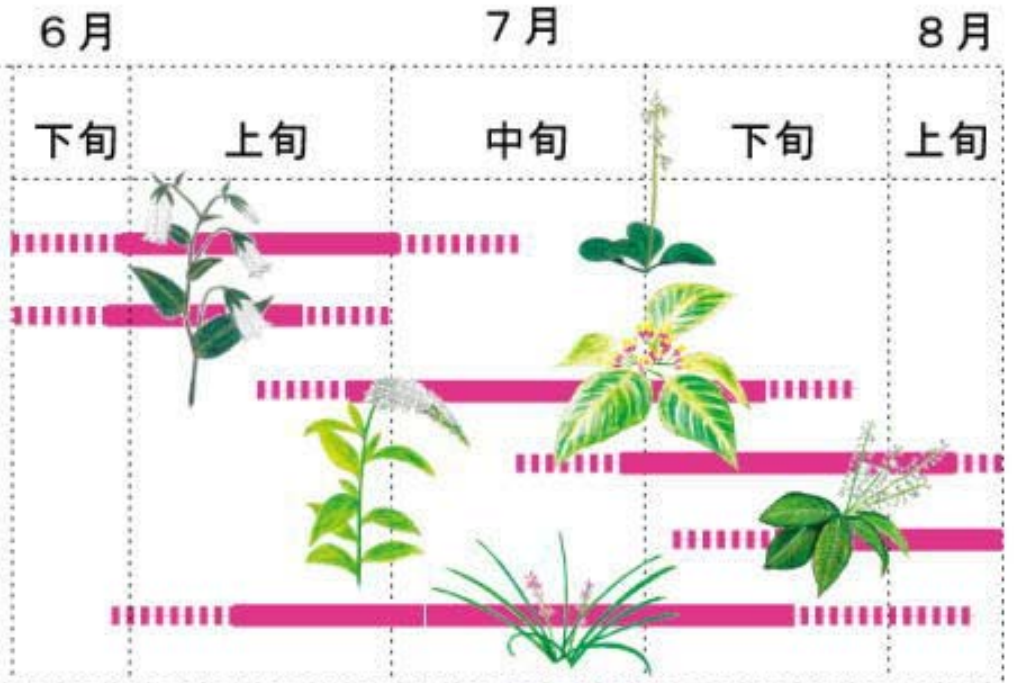
【答えは、5ページ 55】

7月の生物ごよみ (過去のデータから予想)

観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？

植物

イチヤクソウ
ホタルブクロ
ムラサキシキブ
オカトラノオ
リョウブ
ヒメヤブラン

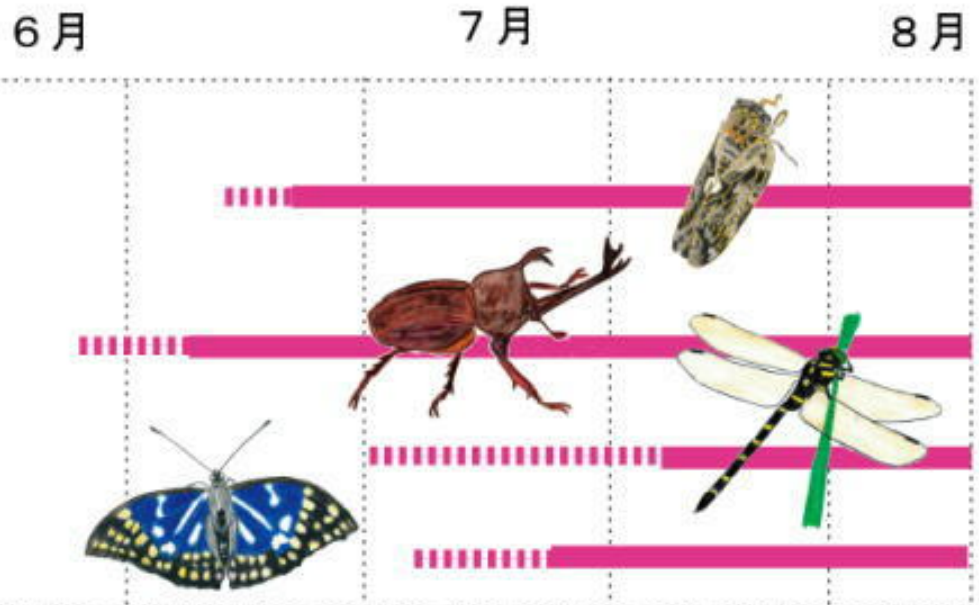


7月に入るとセミが鳴き始めます。昨年は7月3日にニイニイゼミ、7日にヒグラシ、10日にアブラゼミ、23日にエゾゼミ、26日にツクツクボウシ、31日にミンミンゼミの順でした。6月11日にはツツジの丘付近でヒグラシの幼虫を見つけました。しばらく穴から顔を出したままうごめいていましたが、ちゃんと成虫になったのでしょうか。そのほか、大型昆虫のカブトムシやクワガタ、夜にはゲンジボタルなどたくさん昆虫が現れます。楽しみな夏到来です！

【文・イラスト：齋】

昆虫・その他

ニイニイゼミ・ヒグラシの鳴き声
カブトムシ
オニヤンマ
オオムラサキ



みんなで自然観察

野ネズミ出たよ！

5月30日のガイドウォークで、もうすぐ終わりというところで、いきなり超カワイイ生き物を見つけてしまいました。場所は、ヤマツツジの丘からヨシの湿地に下る階段の中腹です。その左手の草の上に、ちょこんと野ネズミが乗っていました。私はあわてて、「カメラ！カメラ！早く！早く！」と大声を出しました。そして、いきなり野ネズミ撮影会の様相となりました。野ネズミはまだ子供で、500円玉の上でまるまれそうな大きさでした。たぶんヒメネズミだと思うのですが、まだ小さくてアカネズミとの違いがはっきりしませんでした。いずれにしても、昼間に会うことはめったに無いことなので、ちょっとビックリしました。小さな被写体の周りをカメラマンたちがどっと囲んだのですが、野ネズミは、周囲を無視してじっとしていました。よく見ると、左わき腹の毛が逆立って、奥が赤くなっていました。もしかしたら、巣穴で何かに襲われ、驚いて脱出したものの、放心状態となっていたのかもしれませんが。しばらくすると、我に返ったように、あたふたと草から下りて、落ち葉の中へ消えて行きました（たいした傷ではなかったようです）。野ネズミは怪我をしていて可哀そうでしたが、みんなはめったに見られない野ネズミを見ることができてラッキーでした。自然観察センター周辺には、ヒメネズミとアカネズミの他に、シッポが短いハタネズミがいます。また、モグラの仲間ですが、シッポが長くネズミのようなジネズミや、モグラをそのまま小さくしたようなヒミズもいます。これらは夜行性なので、なかなか観察することはできません。ヒメネズミとアカネズミは、エンカウンスペース（観察のためのセット）に每晚現れるので、私はよく観察しています。いつか、夜行性動物の観察会など行いたいと考えているのですが、蚊が多いし、暑過ぎたり寒過ぎたりで、みんなで`快適に`観察できるようにするのは、ちょっと難しいかもしれませんね～？



森のこえ



～身近なところにこんな山が～

ひより台 j. m

ある日、見慣れない人が太白山の急斜面を平然と登って行く。いつものように「挨拶」を交わした程度で山頂の貴船神社前で休んでいると「先ほどはどうも」といいながら私の隣の岩に腰掛け「地元の方ですか」と話し掛けてきた。ここまでは通常の会話ですが、よく話を聞くと、昨日富士山に登り、下山後仙台に直行し太白山に来たとのこと、その理由は、全国の「富士」と名のつく山を登り続けており太白山は「仙台富士」としてインターネットで紹介されていたので宮崎県から来たという。

そういえば、一週間ほど前には東京そして広島、福島、山形、盛岡の人も来ていたのを思い出し、その時々会話で太白山の魅力を県外の人から教えられることが多い。

太白山周辺では、さまざまな動植物と出会うことが多く、それはカモシカ、イノシシ、キツネ、タヌキ、リス等で、時にはこれらの動物の珍行動にお目にかかることもあり楽しみが倍加します。その一例を紹介すると、カモシカにやさしく話し掛けると耳をピクピク動かし親しげに二、三步近づいて来る行動、出会い頭に合うと「フェッー」と声を出し威嚇することもある。又、イノシシの雄の迫力満点の「お尻」と子連れ雌イノシシの統率力、人間をジューと見てる親、そして従う子、数分間の緊張感、正直一人のときは出会いたくないものである。



仙台のどこからでも円錐形に見え特徴ある太白山、まさに仙台のシンボルといえる。

私達が毎日眺め登る太白山は、600万年前にマグマが冷却して固まり現在の形が形成された私達の大先輩でもあります。

したがって、山に敬意を表し大切に後世にありのままの姿、そして環境を残すことが私達に求められていると思います。

クイズのこたえ

◎ テッポウムシ



成虫になって出てくる際、鉄砲の弾が打ち込まれたような丸い穴をあけることから、こう呼ばれています。

ちなみに、昔はこれを焼いたり、揚げたりして食べていたそうで、子供のおやつだったそうです。(脂っこくておいしいらしい…☆)

【笑間】



7月の催し



「夜の森の観察会」



ホタルを探しながら
夜の森を散策します。

7月10日(土)
19:00~20:30

【持ち物】懐中電灯、歩き易い服装で
【定員】20名

申し込み⇒ 6日9時から電話にて

「笨川・水辺の観察会」

笨川にはどんな生き物がいるのかな？

7月17日(土)
10:00~11:30

【持ち物】長靴(ピーサン不可)か運動靴
金魚網があると便利
【定員】15名

申し込み⇒ 6日9時から電話にて

「ガイドウォーク」



7月のテーマは『梅雨の雑木林』です
(毎週日曜日)

4日, 11日, 18日, 25日
午前の部→ 10:00~11:30
午後の部→ 13:30~15:00

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

休館日

5日、12日、20日、26日、

「夏休み生き物相談室」

生き物に関する疑問や質問にお答えします。

夏休み期間中

【対象】小・中学生
【場所】自然観察センター



申し込み⇒ 期間中、電話にて

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2010年7月号(毎月1回5日発行)

発行:(財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133